

日本アルプスをいたく中部地方

中部地方の中央部には、**日本アルプス**とよばれる 3000m 級の 3つの山脈が連なっている。

北から順に、



この地域は非常に標高が高いため、「**日本の屋根**」とよばれています。

日本アルプスの山々からは、多くの河川が流れ出ています。

- ・大平洋へ流れ出る川 ... **富士川**、**天竜川**、**木曾川**
- ・日本海へ流れ出る川 ... **信濃川**、**黒部川** → **日本最長の川**

→ 上流域では **盆地**、下流域では **平野** をつくっています

(**甲府**、**松本**、**長野**)

(**濃尾**、**越後**、**富山**)

濃尾平野 には **木曾三川** (**木曾川**、**長良川**、**揖斐川**) が流れていて、下流では **輪中** といわれる堤防で囲まれた地域があり、洪水の被害が多い。

※ 中部地方には、**フォッサマグナ** と呼ばれる大地溝帯があり、東日本と西日本と分けられている。

(東の端は関東地方まで、西の端は **新潟県** の **桑魚川** から **静岡市** まで、系統している。)

また中部地方には日本最高峰の山、**富士山** があり、**世界遺産** に登録された。